

1. 県内高等教育機関への進学促進

	取組内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	取組目標
1	(取組①) 県内高校生やその保護者を対象に高等教育機関の魅力を共同発信	地元新聞社と連携した「キャンパスリポーター事業」等の、各大学等の魅力を共同発信する内容・広報媒体等についての検討	内容・方法の確定と予算の準備	発信及び検証のためのアンケート調査の実施	アンケート調査に基づく検証作業	検証結果に基づく見直し改善	年10回
	(取組②) 近隣県を対象とした学生募集の共同実施	各大学等の学生募集やオープンキャンパス等の情報を掲載したチラシを作成し、近隣県を対象とした新聞折込等の実施成果を検証	共同実施の内容・方法の検討	県外への広報計画の準備	共同実施し参加者等へのアンケート調査の実施	アンケート調査結果により改善等の検討	年1回
	取組③) 県内高校生への進学情報(オープンキャンパス情報)の一元発信	各大学等の学生募集やオープンキャンパス等の情報を掲載したチラシの検証をするとともに、発信する進学情報の内容・広報媒体等についての検討	内容・方法の確定と予算の準備	発信及び検証のための高校生アンケート調査の実施	アンケート調査に基づく検証作業	検証結果に基づく見直し・改善	年1回
	(取組④) 県内大学への進学状況を分析し高大接続対策へ活用(データ分析、検討会の開催)	進学状況を分析するためのデータの収集	データを分析し、その結果を基に高大接続プラン(取組)の検討	高大接続プランを基に高校側と協議	新しい高大接続プラン(事業)の実施	実施状況を検証し改善案のとりまとめ	年1回
	(取組⑤) 高校生への共同模擬講義・実習の実施	高校生に提供可能な共同模擬授業の検討	共同模擬授業の企画立案	共同模擬授業について高校側と意見調整	共同模擬事業の実施と高校生へのアンケート調査	アンケート調査結果を基に改善等の検討	年1回

《年間スケジュール》

	2020計画内容	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
①	内容・方法の確定と予算の準備	○内容・方法確定済み。予算準備済み。	○同左	○同左	○同左
②	共同実施の内容・方法の検討	○今年度の共同実施内容・方法は検討済み。	○今年度分の共同実施	○実施成果の検証	○同左
③	内容・方法の確定と予算の準備	○今年度分発信の実施	○実施成果の検証	○同左	○同左
④	データを分析し、その結果を基に高大接続プラン(取組)の検討	○PF参加校の高大接続の取りまとめ ○徳島県教育基本調査等の調査データの収集	○高校、県教委に対するニーズヒアリング等の調査	○新しい高大接続プランの検討	○新しい高大接続プラン案の仮策定
⑤	共同模擬授業の企画立案	○共同模擬授業の方法や対象について検討	○高校、県教委に対するニーズヒアリング等の調査	○共同模擬授業案の検討	○共同模擬授業について企画立案 ○高校、県教委と調整
⑥					

2. 産学官連携による県内定着の促進

	取組内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	取組目標
2	(取組①) 長期の課題解決型インターンシップの拡大	「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム」のノウハウを活用した課題解決型インターンシップ等、各大学のインターンシップの現状を調査し取りまとめ	長期インターンシップの拡大についての企画・立案	長期インターンシップについて産業界から意見聴取	長期インターンシップの準備	同 左	8 高等教育機関
	(取組②) 産学官が共同企画した新たなインターンシッププログラムの実施	産学官共同企画の新しいインターンシップの検討	新しいインターンシップの企画立案	新しいインターンシップの実施	同 左	実施結果を基に改善等の検討	2 件
	(取組③) 県内産業の魅力を発信する参加校共同授業の実施	新たな県内産業の魅力発信のための共同授業の企画立案	共同授業の授業科目の設定とシラバスの作成	共同授業の実施	同 左	授業科目増加に向けた検討	年3 科目
	(取組④) 地域指向型科目の共同授業化の推進	地域指向型共同授業の企画立案	共同授業の授業科目の設定とシラバスの作成	共同授業の実施	同 左	授業科目増加に向けた検討	1 科目
	(取組⑤) 学生と県内企業経営者との交流会の開催	各大学等が取り組んでいる交流事業の外、新たに学生と企業関係者の交流会の企画・準備	交流会の実施と学生・企業関係者へのアンケート調査	アンケート調査結果による改善方策の検討	見直し改善後の交流会の実施	同 左	年9 回
	(取組⑥) 県内産業の魅力などを伝える、学生・保護者対象の就職説明会の共同開催	各大学が実施している就職説明会の状況を踏まえ、新たに共同で実施する学生保護者を対象とした就職説明会の検討	就職説明会の実施準備	就職説明会の実施	同 左	就職説明会の改善に向けた検討	年2 回
	(取組⑦) 地域人材育成をテーマとしたFDの開催	現在実施しているFDにおいて、新たに地域人材育成をテーマとしたFDの企画・立案	FDの開催	同 左	FDの改善に関する検討	検討結果に基づく新しいFDの実施	年3 回

《年間スケジュール》

	2020計画内容	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
①	長期インターンシップの拡大についての企画・立案	○実践力養成型インターンシップ拡大に向けた、コーディネーター養成講座の打合せ	○各高等教育機関からコーディネーター候補者を推薦	○第1回～第4回コーディネーター養成講座の座学研修実施	○第1回コーディネーター養成講座の現地視察及び先進事例調査実施
②	新しいインターンシップの企画立案	○大学1年生を対象に県内産業における業界についての知見を深め、また様々な業種のワークスタイルを知ることで、徳島県内における地域志向性を育成する新しいインターンシップ（エクスターンシップ）を企画する。	○エクスターンシップのシラバス案作成と学内調整	○次年度後期科目として申請	○エクスターンシップの広報と受入企業の選定
③	共同授業の授業科目の設定とシラバスの作成	○前年度末に作成したシラバスを基に各高等教育機関担当者との打合せ及び登壇者の選定 ○各高等教育機関の学生への広報(今年度はコロナの影響もあり、高校生の参画は取りやめ)	○8月20、21、24、25日共同授業実施	○報告書の作成 ○次年度に向けた検証	○次年度に向けた検証 ○FDフェスタにおいて報告
④	共同授業の授業科目の設定とシラバスの作成	○各高等教育機関において対象となる授業科目の選定及び学内調整	○各高等教育機関において対象となる授業科目の選定及び単位互換に向けた学内調整 ○エクスターンシップの共同授業化に向けた検討	○各高等教育機関において対象となる授業科目の選定及び単位互換に向けた学内調整 ○各高等教育機関の間で単位互換に向けた各調整 ○シラバスの作成	○単位互換に関する協定の締結 ○各高等教育機関の間で共同授業実施に向けた調整
⑤	交流会の実施と学生・企業関係者へのアンケート調査	○開催方法についての検討 ○各高等教育機関での企業関係者との交流の場について調査(内容、数)	○企業関係者への調査	○調査結果をもとに新規事業の検討	○新規事業案の作成
⑥	就職説明会の実施準備	○コンソーシアムとくしまにて就職説明会の企画検討 ○新たな就職説明会の企画立案	○コンソーシアムとくしまにて就職説明会の企画検討 ○新たな就職説明会の開催	○コンソーシアムとくしまにて就職説明会の開催	○次年度の実施に向けた検討
⑦	FDの開催	○T-SPOD所掌課との事前調整(徳島大学) ○共同FDを実施する上でのニーズ調査	○T-SPODへの提案 ○共同FDの企画立案(四国大学)	○共同FDの試行的実施	○次年度に向けた企画検討

3. 留学生の確保と県内定着

	取組内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	取組目標
3	(取組①) 留学生共同サポートセンターの設置・運営	留学生共同サポートセンターの設置	サポートセンター運営に関する検証	検証結果に基づく改善案の作成	改善等の実施	同 左	2019 年 設置
	(取組②) 国内で実施される留学生向けの進学説明会（留学生募集活動）の共同参加	日本語学校等の学生向けオープンキャンパスの開催や留学生向け進学説明会での共同発信と検証。	県外説明会への共同参加	参加回数・人数の拡大方策の検討	改善策に基づいた実施	同 左	年2 回
	(取組③) 留学生向けの就職セミナーや企業との交流会など、就職支援の共同実施	留学生共同サポートセンターにおいて、県内企業見学バスツアーや共同の就職セミナー等の開催と検証。	就職支援共同実施のための準備	セミナー、交流会の共同実施	実施効果等の検証	検証結果に基づく改善実施	年3 回

《年間スケジュール》

	2020計画内容	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
①	サポートセンター運営に関する検証	○検証方法に係る検討	○同左	○検証の実施	○同左
②	県外説明会への共同参加	○日本語学校等の学生向けオープンキャンパスの共同（四国大・工短大）実施を企画・準備（留学フェア中止のため、県外説明会への参加見込みは、なし）	○日本語学校等の学生向けオープンキャンパスの共同実施	○次年度に向けた検証	○同左
③	就職支援共同実施のための準備	○共同実施のための検討・準備	○共同実施	○同左	○同左
④					
⑤					
⑥					

1. 地域産業の活性化の推進

	取組内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	取組目標
1	(取組①) 光関連産業分野における企業との共同研究・共同事業の実施	「次世代“光”創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」に基づく共同研究・共同事業を推進すると同時に、これからの光産業分野の企業との共同研究等の戦略の策定・実施	共同研究等の実施	同 左	共同研究等の実施状況の検証	共同研究等の改善方策のまとめ	3 件
	(取組②) ものづくり産業分野における企業との共同研究・共同事業の実施	各大学が等が行う「ものづくり産業」に係る企業との共同研究・共同事業の促進と実施状況のとりまとめを行い、今後、ものづくり産業分野の企業との共同研究等の戦略の策定	共同研究等の実施	同 左	共同研究等の実施状況の検証	共同研究等の改善方策のまとめ	73 件
	(取組③) 農林水産業の6次産業化の推進	各大学等が行う「農林水産業の6次産業化」に係る共同研究・共同事業の促進と実施状況のとりまとめを行い、これからの農林水産業の6次産業化の推進に係る戦略の策定	戦略に基づく取組内容の検討	6次産業化に向けた具体的な取り組み	同 左	取り組み状況の検証	57 件
	(取組④) 産学官連携による阿波藍の魅力創造発信の推進	産学官連携による阿波藍の魅力創造発信の実施	魅力創造発信に関する新しい取り組みの検討	新しい取り組みの実施	同 左	取り組み状況の確認	年11回
	(取組⑤) インダストリー4.0に対応した、AI、IoT、ロボット等の実装の支援	AI、IoT等の実装支援方策の検討	具体の取り組みについてのとりまとめ	具体の取り組みの実施	同 左	改善・改良に向けての見直し	7 件

≪ボランティアサポート制度を活用した履修プログラムを構築し、被災地支援活動実習を通じ、参加学生を対象としたボランティア支援体制を推進。≫

	2020計画内容	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
①	共同研究等の実施	共同研究・共同事業先の検討と共同研究戦略の策定①	共同研究・共同事業先の検討と共同研究戦略の策定②	共同研究・共同事業の実施①	共同研究・共同事業の実施②
②	共同研究等の実施	共同研究・共同事業先の検討とその戦略の策定①	共同研究・共同事業先の検討とその戦略の策定②	共同研究・共同事業の実施①	共同研究・共同事業の実施②
③	戦略に基づく取組内容の検討	・県のもうかるブランド課から昨年度、一昨年度の実績、今年度の方針について調査（済）。その他同項目に関係する部署に実施状況を調査 ・各大学が共通の定義に基づき調査（共通の定義：各年度の数字の振れ幅をなくすことを目的）	・県所掌課の状況、各大学の調査の両面から計画変更の必要性についても検討し、計画を変更する場合は変更内容を検討し変更申請を中長期計画に提出 （計画変更の必要がなければ取組み拡充に向けた方策について検討する。）	・事業を拡充していくための可能性についてアイデアを交換し、次年度の具体的な事業内容を検討	・次年度の具体的な取組み案を作成
④	魅力創造発信に関する新しい取り組みの検討	各大学での藍に関連する事業の再度のとりまとめ。（本取組に関連する可能性のある教員、部署の把握） （徳大研究クラスター、宇都先生、徳文大東西電工との共同事業、鹿革染め、高専一森先生など）	徳島県商工労働観光部新未来産業課等に問い合わせし、藍関連の産学官連携の実態調査、今後の展望についてヒアリング	新しい取り組みの検討（藍に関する継続的取組みかつ安定的な情報発信方法などを再検討）	同左
⑤	具体の取り組みについてのとりまとめ	AI、IoT等の実装支援戦略の検討①	AI、IoT等の実装支援戦略の検討②	AI、IoT等の実装支援戦略案の作成	AI、IoT等の実装支援戦略運用の調整

2. 災害リスクマネジメントの強化

	取組内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	取組目標
2	(取組①) 市町村との共同研究・共同事業の推進	市町村との共同研究・事業の実施状況調査を行いとりまとめ	課題解決のための共同研究・事業の企画	実施に向けて関係機関との調整・準備	共同研究等の実施	同 左	15 件
	(取組②) 県との連携事業の推進	現在実施している県との連携事業のとりまとめ	新たな連携事業の開発	新たな連携事業の実施	同 左	連携事業の取り組み状況についての検証	130 件
	(取組③) 県民の生活習慣改善や心身の健全を支援する健康改善プログラムの実施	健康寿命の延伸や県民のフレイル対策をテーマとした新たな県民向け公開講座を開講するとともに、生活改善プログラムの開発に必要な資料等の収集	収集資料の整理・取りまとめを行い、プログラムの方向性の検討	健康改善プログラムの開発	健康改善プログラムの実施	同 左	3 プログラム
	(取組④) 大学と県が連携して実施しているボランティアパスポート事業の拡充	ボランティアパスポート事業の実施状況の整理・確認作業	事業の拡充等の検討・実施の準備	ボランティアパスポート事業の拡充実施	同 左	拡充したボランティアパスポート事業の取組状況の検証	5 高等教育機関
	(取組⑤) 共同での地域の課題解決フィールドワークの実施	複数の大学等が共同で提案する課題解決・活性化に向けたフィールド・ワークを推進し地域の課題の整理と優先度の検討	取組む課題の選定と実施の準備	フィールドワークについて学生と地域との事前打合せ・調整	課題解決フィールドワークの実施	同 左	3 テーマ
	(取組⑥) 地域課題解決の取組に必要なとなる専門教員の共同人材バンク設置	地域課題解決に必要な共同人材バンクについての検討	人材バンクの設立	人材バンクの運営	同 左	人材バンクの運営状況の検証	2020 年設置

《年間スケジュール》

	2020計画内容	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
①	課題解決のための共同研究・事業の企画	・実態の再把握 ・集計、内容の共有（※情報開示の程度を決めておく）	プラットフォームとしての（自治体）からの情報収集方法の検討（市町村会への調査項目の検討）	市町村からの情報収集	・事業案の企画 ・各市町村に打診
②	新たな連携事業の開発	新規連携要望のとりまとめ	大学等との調整	新規連携事業の実施	同左
③	収集資料の整理・取りまとめを行い、プログラムの方向性の検討	各高等教育機関が計画・実施している健康改善プログラムのとりまとめ①	各高等教育機関が計画・実施している健康改善プログラムのとりまとめ②	収集した情報に基づく今後の方向性の検討①	収集した情報に基づく今後の方向性の検討②
④	事業の拡充等の検討・実施の準備	・四国大学での調査について報告 ・拡大に向けた手順の検討（県と調整）	・更なる事業拡大に向けた検討 ・ボランティアパスポート導入にあたり、問題が発生した場合は内容変更について協議	同左	同左
⑤	取組む課題の選定と実施の準備	課題の募集と選定	委託契約手続と実施	実施	同左
⑥	人材バンクの設立	既存の人材バンクについて情報収集	所管課との協議	設立に向けた準備	設立

3. 災害リスクマネジメントの強化

	取組内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	取組目標
3	(取組①) 学生が災害発生時にボランティア活動等を円滑に行える体制の整備	ボランティアパスポート制度を活用した履修プログラムを構築し、被災地支援活動実習を通じ、参加学生を対象としたボランティア支援体制を推進。	同 左	訓練の実施	同 左	ボランティア組織の在り方についての検証	2019 年 整備
	(取組②) 自治体が開催する災害関係の会議への参画	自治体の災害会議への参加・加盟組織への周知	同 左	同 左	同 左	同 左	8 高等教 育 機関
	(取組③) 大学版 B C P の作成の推進	各大学等が作成するBCPについての支援方法の検討	支援等のとりまとめ	必要に応じた支援の実施	同 左	同 左	8 高等教 育 機関
	(取組④) 共同での防災講座の実施	共同での実施する防災講座の企画・立案	防災講座内容・方法の検討	防災講座の実施	同 左	同 左	3 講座

《年間スケジュール》

	2020計画内容	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
①	ボランティアパスポート制度を活用した履修プログラムを構築し、被災地支援活動実習を通じ、参加学生を対象としたボランティア支援体制を推進。	学生災害ネットワーク事業の企画立案	学生災害ネットワーク事業の実施①	学生災害ネットワーク事業の実施②	学生災害ネットワーク事業の振り返り
②	自治体の災害会議への参加・加盟組織への周知	県で実施している災害会議について情報収集	講座実施所属との協議	拡大に向けた準備	同左
③	支援等のとりまとめ	各高等教育機関のBCP作成状況の把握①	各高等教育機関のBCP作成状況の把握②	各高等教育機関のBCP作成状況のとりまとめ	BCPについて今後の支援策の検討
④	防災講座内容・方法の検討	県で実施している防災講座について情報収集	講座実施所属との協議	次年度実施に向けた準備	同左
⑤					
⑥					

1. 高等教育機関の教育内容の充実のための交流拡大

	取組内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	取組目標
1	(取組①) T-SPOD会議など共同のFD・SD研修会の開催	新たに、共同の共同のFD・SD研究会についての企画立案	共同FD・SD研究会の準備	共同FD・SD研修会の実施	同 左	共同FD・SD研究会の実施についての検証	3 回
	(取組②) プラットフォーム事業に関連する共同IRの実施	プラットフォーム事業に関する共同IRの実施についての検証	共同IR実施項目の選定	共同IR実施方法などの検討	共同IRの実施	同 左	推進
	(取組③) 各高等教育機関等が有するサテライトオフィスの共同利用の推進	サテライトオフィスの共同利用についての検討	共同利用についての運用方針の決定	共同利用の実施	同 左	運用状況の検証と見直し案の検討	推進
	(取組④) 新たな単位互換や共同授業化の推進	現在の単位互換及び共同授業の状況のまとめ	新しい単位互換制度等の検討・準備	新しい単位互換制度の実施	同 左	同 左	3 科目
	(取組⑤) 施設の共同利用の推進	現在の施設の共同利用の状況の把握・まとめ	共同利用の在り方の検討と関係規則等の整備	施設の共同利用の実施	同 左	同 左	推進

《年間スケジュール》

A

	2020計画内容	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
①	共同FD・SD研究会の準備	○WGで内容決定（テーマ、時期、会場） ○各機関内のFD・SD研修会と調整	○開催校との調整（広報物の制作など） ○T-SPODとの打ち合わせ	○試行的に開催	○次年度に向けた検討
②	共同IR実施項目の選定	○共同IRの実施目的の検討	○共同IRの実施目的の検討	○共同IR実施項目（案）の選定	○共同IR実施項目（案）を各機関内で調整・検討
③	共同利用についての運用方針の決定	○保有施設の紹介と各高等教育機関での現状の利用頻度、内容について調査	○利活用方法の検討（次年度共同利用に向けて）	○運用方針について検討	○運用方針の決定 ○各機関内での調整
④	新しい単位互換制度等の検討・準備	○単位互換を実施している各機関の所掌部門に単位互換推進における懸念、可能性をヒアリング	○共同で実施する可能性のある科目の検討 ○単位互換する科目の検討	○共同で実施する可能性のある科目の決定、調整 ○単位互換する科目の決定、調整	○共同で実施する可能性のある科目の決定、調整 ○単位互換する科目の決定、調整
⑤	共同利用の在り方の検討と関係規則等の整備	○各機関内の教員を対象とした調査項目を作成	○各機関内の教員の学外施設設備利用実態を把握、共同利用項目の検討	○共同利用案の作成	○共同利用に向けて各機関内で調整
⑥					

2. 地域を支える人材の育成

	取組内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	取組目標
2	(取組①) 小・中・高校生向けの科学技術人材を養成する体験講座の実施	「とくしま科学技術アカデミー」の開催や各大学等が行う科学技術に関する講座を充実するとともに、実施状況の取りまとめ。	講座拡大のための検討	新しく実施する講座の内容・方法等の検討と準備	新しい講座の実施	同 左	6 講座
	(取組②) 小・中・高校生向けの学習支援事業（大学の施設、設備を活用した事業）	各大学等が行う「小中高校生向け学習支援事業」の充実と実施状況の取りまとめ	学習支援事業拡大のための検討	新しく実施する学習支援の内容方法の検討と準備	新しい学習支援授業の実施	同 左	30 講座
	(取組③) 小・中・高校生を対象としたキャリア形成支援の実施（出前授業の実施等）	各大学等が行う「小中高校生向け出前授業」の充実と実施状況の取りまとめ。	キャリア形成のための出前授業の広報活動等の検討	広報活動を活性化するとともに学校側の要望アンケート調査の実施	アンケート調査結果の分析と新しい出前授業の在り方の検討	同 左 小・中・高生が満足できる出前授業の実施	170 回
	(取組④) 共同での地域の課題解決フィールドワークの実施（再掲）	地域の課題の整理と優先度の検討	取組む課題の選定と実施の準備	フィールドワークについて学生と地域との事前打合せ・調整	課題解決フィールドワークの実施	同 左	3 テーマ
	(取組⑤) 長期の課題解決型インターンシップの拡大（再掲）	各大学のインターンシップの現状を調査し取りまとめ	長期インターンシップの拡大についての企画・立案	長期インターンシップについて産業界から意見聴取	長期インターンシップの準備	同 左	8 高等教育機関
	(取組⑥) 地域人材育成をテーマとしたFDの開催（再掲）	地域人材育成FDの企画・立案	FDの開催	同 左	FDの改善に関する検討	検討結果に基づく新しいFDの実施	年3 回

《年間スケジュール》

	2020計画内容	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
①	講座拡大のための検討	○小中高生に向けての調査項目の検討	○調査項目案の作成 ○小中高に対しニーズ調査	○調査に基づく実行案を検討	○WG案の作成 ○小中高への打診、提案
②	学習支援事業拡大のための検討	○小中高生に向けての調査項目の検討	○調査項目案の作成 ○小中高に対しニーズ調査	○調査に基づく実行案を検討	○WG案の作成 ○小中高への打診、提案
③	キャリア形成のための出前授業の広報活動等の検討	○小中高生に向けての調査項目の検討	○調査項目案の作成 ○小中高に対しニーズ調査	○調査に基づく実行案を検討	○WG案の作成 ○小中高への打診、提案
④	取組む課題の選定と実施の準備	○各大学が独自事業で自治体と共同で取り組んでいるテーマ、学科などを調査	○共同で取り組める事業の検討	○共同事業案の作成	○共同実案の検討、作成
⑤	長期インターンシップの拡大についての企画・立案	○コンソーシアムとくしま内で検討	○同左	○同左	○同左
⑥	FDの開催	○WGで内容決定（テーマ、時期、会場） ○各機関内のFD・SD研修会と調整	○開催校との調整（広報物の制作など） ○T-SPODとの打ち合わせ	○試行的に開催	○次年度に向けた検討

3. リカレント教育を含む多様なニーズに対応した生涯学習機会の提供

	取組内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	取組目標
3	(取組①) 県民ニーズに対応した生涯学習に係る新しい公開講座の充実	新あわ学コース等「生涯学習分野の公開講座」の充実と実施状況のとりまとめ。	公開講座に対する県民ニーズ調査の実施	ニーズ調査結果に基づく新しい公開講座案の作成と実施準備	新しい公開講座の実施	同 左	40 講座
	(取組②) 産業界のニーズに対応した実践的なリカレントプログラムの開発・提供	「次世代“光”創出・応用」や「とくしま経営塾」等のリカレント講座をはじめ、「とくしまリカレント教育推進事業」など、AIやIoTなど産業界のニーズを踏まえたリカレントプログラムを開発・提供するとともに産業界のニーズに対応した実践的なリカレントプログラムの在り方	新プログラム作成のための資料収集、まとめ	新プログラムの案の作成	新プログラムの実施	同 左	20プログラム以上
	(取組③) 教育訓練給付金制度を活用したリカレントプログラムの充実	教育訓練用リカレントプログラムの充実策の検討	新しいリカレントプログラム作成のための資料収集・まとめ	新しいリカレントプログラム案の作成	新リカレントプログラムの実施	同 左	4プログラム
	(取組④) リカレント教育情報の一元的発信	「とくしまリカレント教育支援センター（仮称）」を開設し、リカレント教育に関する情報を集約し、徳島県立総合大学校HPにおいて情報を発信。	同 左	同 左	同 左	リカレント情報発信の検証	2019年HP開設

≪年間スケジュール≫

	2020計画内容	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
①	公開講座に対する県民ニーズ調査の実施	○県民ニーズの調査方法、調査項目についての検討	○調査実施	○ニーズの共有と講座案の作成	○運用の検討、調整
②	新プログラム作成のための資料収集、まとめ	○産業界ニーズの調査方法、調査項目についての検討	○調査実施	○ニーズの共有とプログラム案の作成	○運用の検討、調整
③	新しいリカレントプログラム作成のための資料収集・まとめ	× ※実態の把握は毎年行う。			
④	同 左	済			
⑤					

とくしま産学官連携プラットフォーム
令和2年度上半期（4月～10月）実施事業

タイトル	方針	実施事業	実施時期	対象	実施形態
県内高校生やその保護者を対象に高等教育機関の魅力を共同発信	各高等教育機関の魅力を新たな切り口で発信	キャンパスリポーター事業の実施	年12回（内7回実施済み）	高校生やその保護者	実施形態：参画大学等の学生による記事を県内新聞紙面にて掲載
近隣県を対象とした学生募集の共同実施	参画校共同で県内高等教育機関の情報を発信	徳島進学ガイドの実施	令和2年8月	近隣県（淡路島、香川）世帯へ	オープンキャンパスの開催日時や紹介を掲載したチラシを配布
県内高校生への進学情報（オープンキャンパス情報）の一元発信	効果検証を行いながら最適な進学情報の発信を共同で実施	徳島進学応援ガイドの実施	令和2年6月	徳島県内の高校生、保護者	新聞紙面にて各高等教育機関情報、オープンキャンパスの情報発信
県内産業の魅力を発信する参加校共同授業の実施	県内産業の魅力を発信する共同授業の拡大	コンソーシアムとくしまにおける共同授業の実施	令和2年8月		共同で集中講義を実施
県内産業の魅力などを伝える、学生・保護者対象の就職説明会の共同開催	自治体、産業界などと連携した就職説明会の実施	オンライン合同就職説明会の開催	令和2年7月頃	県内の高等教育機関の学生及び保護者	主担当校（四国大学）から遠隔会議システムで配信
地域人材育成をテーマとしたFDの開催	新たなFDプログラムを開発し共同で実施	地域人材育成をテーマとしてFD/SD研修会	令和2年10月	県内の高等教育機関の教職員（※一般開放型で実施）	主担当校（四国大学）から遠隔会議システムを使用して配信
プラットフォーム事業に関連する共同IRの実施	PF事業に関連する共同IRの実施と拡大	共同IR調査の実施	令和2年10月	県内の高校3年生	WEBアンケート調査

※適宜更新中